

2026 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ズ ジ ェ ン ト  
代 表 社 名 代 表 取 締 役 社 長 杉 本 隆 洋  
(コード 4288 東証スタンダード)  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 経 営 企 画 部 長 秋 山 貴 彦  
電 話 番 号 0 3 - 6 8 5 3 - 7 4 0 1

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 2 月 12 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 5 月 14 日に公表しました 2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 通期業績予想の修正

(単位：百万円)

|                             | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1 株当たり<br>当期純利益<br><br>円 銭 |
|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|----------------------------|
| 前回発表予想 (A)                  | 3,000 | 50    | 50    | 50    | 13.10                      |
| 今回修正予想 (B)                  | 3,300 | 168   | 162   | 151   | 39.66                      |
| 増減額 (B - A)                 | 300   | 118   | 112   | 101   |                            |
| 増減率 (%)                     | 10.0  | 236.0 | 224.0 | 202.0 |                            |
| (ご参考) 前期実績<br>(2025 年 3 月期) | 2,971 | △205  | △218  | △440  | △115.46                    |

## 2. 修正の理由

売上につきましては、Check Point 社製品を中心にプロダクト関連において受注環境の改善が継続して進展いたしました。Check Point 社製品では、大規模ネットワークで利用されるハイエンド製品の新規導入も進んだことで、売上拡大を牽引しました。また、Votiro 社（現：Menlo Security Inc.）製品や Radware 社製品においても、大型案件の獲得が想定通り進捗したことが寄与しました。一方、コスト面では、販売促進につなげるための宣伝広告費や営業活動費を強化しつつも、人員体制を見直したことによる人件費の最適化が継続していることや前事業年度末に実施した固定資産の減損処理によるトータルコスト削減効果が継続したことから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が前回予想に比べ大幅に好転する見通しとなりました。

ご注意：本資料に記載されている業績等の予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上